

PTA活動紹介		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立岡崎盲学校	部門	部門3 特別支援
活動テーマ	『会員が参加しやすいPTA交流会』		
キーワード	PTA会員の親睦	参加しやすい交流会	交流の深まり
開催日	2018年10月1日		
場所	愛知県立岡崎盲学校 会議室など		
時間	午前9時40分から午後1時40分		
参加者	保護者(17名)、教員(1名)		
趣旨	1. 前年度まで行ってきたPTA社会見学を見直し、多くの保護者が参加して親睦を図ることができるPTA交流会を実施したい。 2. 保護者が計画を十分に話し合い、保護者が気軽に参加できる会にしたい。 3. 実施後にアンケートをとり、反省を踏まえて次年度の計画をする。		
活動ポイント	午前は陶芸体験、午後は食事会を行った。陶芸体験は学校で、食事会は飲食店で行った。		
主体委員会名・講師名等	PTA交流会担当の役員・陶芸ひろば赤びーまん豊田校		

1 計画

社会見学は楽しかったけど、現地集合で行くだけで大変だったね。

物作りをしながらだったら、会話も弾むんじゃないかなあ。以前参加した陶芸教室、楽しかったよ。



確かに、見学するのに一生懸命で、あまりおしゃべりができなかった気がする...

物作りが話すきっかけになるね。じゃあ、集まりやすい学校を会場にして、食事会は飲食店に行くのはどうかな？

本校は、三河全域から幼児児童生徒が通う学校です。前年度までは、新鮮な体験をしながらPTA間の親睦を図る目的で、PTA社会見学に行っていました。楽しい行事でしたが、現地集合のため移動時間がかかり、親睦の時間が十分にとれないこと、保護者にとって有意義な会になっていたか疑問が残ること、参加者の減少などの課題が出ていました。

そこで1学期からPTA役員間で話し合い、社会見学から学校での交流会に移行することにしました。当日は例年よりも多くの参加者が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めることができました。

メール送信先 info@aichikoupren.org

2 当日の様子

制作活動(ランプシェードづくり)・食事会

フムフム、型に粘土板を沿わせるようにすれば形ができるのね。



どのような模様を付けようかな？隣の人は、どうしているかな？



ランプシェードから光がどう漏れてくるのか、想像しながら作ろう。



何？この模様。まるで「猫の足跡」みたいだね(笑)



ようやく作品が完成しました。自分の作品を見て、思わずにこり。皆さん、納得のいく作品ができたようです。この後、車に乗り合わせ、食事会に出かけました。おいしい食事をいただきながら、こちらも楽しい会になりました。



3 アンケートより



「交流会では、普段おしゃべりする機会のない保護者の方々と、他愛もない会話をしたり、有益な情報交換をしたりすることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。陶芸も非日常で、集中することができて、とてもよかったです。」



「PTAいつもご苦労様です。今回の交流は、初の学校での陶芸体験で、楽しめました。午前の部と午後の部に分かれていたので、午後から仕事がある私にとっては、午前だけ参加できるのでうれしいです。これからもなるべくPTAには参加したいと思います。」



「交流会に参加できて、よかったですと思います。今回、台風が心配でしたが、中止になる場合はどのようなタイミングで連絡があるか、気になりました。」



「前年度、PTA役員をさせていただいていたので、大変さはよく分かります。少ない人数の中で、頑張ってくださいっていて、本当に感謝いたします。やれることは喜んで協力いたします。」

昨年度の交流会がおおむね好評だったので、今年度も昨年度に引き続き、制作活動(ハーバリウムづくり)と食事会を行いました。参加者18名が心地よい花の香りに囲まれ、会員間でおしゃべりにも花を咲かせながら、それぞれがオリジナルの作品を完成させることができました。

本校は全校幼児児童生徒53名の小さな学校なので、組織を見直すなどしながら、できるだけ役員の負担にならないように、実のあるPTA活動を行っていきたいと思います。



PTA活動紹介		高P連受付番号	2
PTA(学校)名	豊橋市立くすのき特別支援学校	部門	3
活動テーマ	「進路決定に向けて」		
キーワード	進路	保護者同士	体験談
開催日	2019年11月1日(金)		
場所	豊橋市立くすのき特別支援学校 会議室		
時間	午前9時30分から午後1時まで		
参加者	保護者33名(うち22名昼食会参加) 内訳 小学部12名、中学部8名、高等部13名 卒業生保護者2名 進路指導主事1名		
趣旨	卒業生の保護者を招き、卒業後の進路決定までにしてきたこと、卒業後の事務所や家庭での様子等について話を聞く機会とする。 (1)進路に関する諸課題について保護者同士が心を開いて話し合い、課題の糸口を探る。 (2)卒業生の保護者から得た解決方法を参考にしよう。 (3)より多くの保護者と話し、それぞれの悩みを知り、前向きに解決していく。		
活動ポイント	高等部卒業後に企業と福祉施設に就労しているお子さんの保護者から体験談を聞く。 進路指導主事が助言する。		
主体委員会名・講師名等	研修委員会		

【当日】

- スケジュール
 - 9:30 PTA研修委員集合、準備
 - 9:45~10:00 受付
 - 10:00~11:50 相談会
 - 12:00~13:00 昼食(就労継続支援B型事業所の弁当)
- 進め方
 - PTA研修委員で司会進行を行う。
- 相談会の様子
 - B型事業所就労した卒業生の保護者、一般就労した卒業生の保護者から、事前の質問を混ぜて話をしてもらいました。進路指導担当教員より、補足説明等を丁寧にしてもらうことで、大変分かりやすくなりました。なんでも答えていただけるといふ雰囲気、当日の質問も多くあり、進路について保護者の悩みを少しでも解決することができました。
- 昼食会の様子
 - 小学部、中学部、高等部の保護者が参加しており、初めて顔を合わせた方も多くいました。その中で、卒業生の保護者にさらに質問をしたり、小学部の保護者から、高等部の保護者に質問したりなどがありました。また、B型事業所が作っている弁当ということで、話題が多くなりました。和気あいあいとした雰囲気の中、大変話も弾みました。

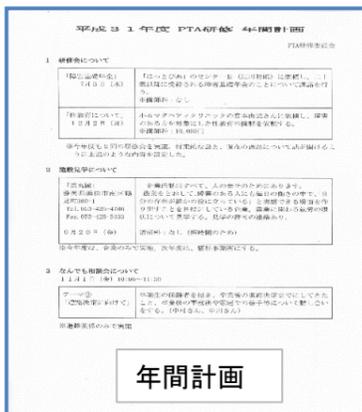


【事後】

- 役員委員の声(抜粋)
 - 先輩方の体験談は、とても参考になるので、ありがたいお話でした。生活介護の話も聞けたら良かった(小学部)
 - 今後同じように卒業生の保護者の方に話を聞くのであれば違ったケースで、卒業して何年か経っても 同じ場所で元気に通っている話、また、卒業後の進路先とは違うところに通っている経緯なども聞けたら参考になります。お弁当もヘルシーなお腹が膨れて大満足(小学部)
 - 初めて参加しましたが、いろいろな情報を聞くことができたので参考になった(小学部)
 - 先輩保護者の話を聞くことができる良い研修会に参加できてよかった(中学部)
 - 早いうちから自分で積極的に動いた方が良いな、ということを改めて感じた。個人的には生活介護の方の話も聞きたかった(中学部)
 - お二人の先輩保護者の方のお話がとても分かりやすく、どんな質問にも快く答えていただけありがとうございました(中学部)
 - B型、就労移行、生活介護など、事業所の仕組みを知った上でないと理解できない話がほとんどだったので、いまいち理解が難しいという方もいらっしゃると思う(中学部)
 - お二人の話がとても分かりやすかった。帰宅後や休日の過ごし方、給料のことなど、プライベートな質問にも丁寧に答えてもらえてありがとうございました(高等部)
- まとめ
 - 時間的に余裕があったので、生活介護に通っているお子さんの保護者の方に来てもらってもよかった。生活介護の話を知りたいという意見も多いので、来年度できたらと思う。
 - 小学部の保護者は、今聞いてもピンとこないこともあると思うが、このような機会にいろいろな方のお話を聞くことでわかっていくことがたくさんあると思う。
 - 研修会の様子は、PTA新聞に掲載予定である。

【事前準備】

- 5月13日(月): 研修委員会
 - 年間計画案を示して、研修委員の方から意見を聞く。
 - 毎年行っている「なんでも相談会」のテーマを『進路決定に向けて』とする。
 - 卒業生の保護者を招き、進路決定までにしたこと、卒業後の事業所や家庭での様子について話をしてもらう。
 - 卒業生の保護者は、子どもさんが一般就労、就労継続支援B型事業所就労した二人にする。
 - 終了後、事業所で作っている弁当を食べる。
- 6月10日(月): 第3回PTA役員会、研修委員会
 - 役員会にて、PTA研修委員会委員長より年間計画を提案する。
 - 研修委員会にて、各研修会における役割分担を決める。
- 9月19日(木)
 - PTA研修委員会担当高等部主事作成による保護者案内文書を配布する。参加申込とともに、当日の質問事項を尋ねる。
- 10月7日(月): 研修委員会
 - 最終打合せ
 - 当日の役割分担、進行方法の確認をする。
 - 弁当は、就労継続支援B型事業所に注文する。
 - 事前質問事項のとりまとめ(抜粋)
 - 重度の子どもたちが、就労先でどのくらいの割合で働いているか(小学部)
 - 市外等も視野に入れて検討したか(小学部)
 - 卒業後の進路は、いつごろ決めることができたか(小学部)
 - 一日あるいは休日の子どものスケジュール、母のスケジュールの変化を聞きたい(小学部)
 - B型事業所と就労移行で迷っています。どのようなポイントで最終決断をするのがよい(高等部)



PTA活動紹介		高P連受付番号	3
PTA(学校)名	愛知県立いなざわ特別支援学校		部門 3
活動テーマ	『進路講話』		
キーワード	福祉事業所・就労相談	先輩親、卒業生の話	卒業後の過ごし方
開催日	令和元年6月4日(火)		
場所	いなざわ特別支援学校 会議室		
時間	午前10時から正午まで		
参加者	保護者:68名(小学部14名、中学部26名、高等部28名)		
趣旨	卒業後の進路先(一般就労、A型・B型就労、生活介護等)の参考として、卒業生をお呼びして話を聞く機会を作りました。今の進路先を決めた決め手は?卒業後、仕事をする以外の日常はどう過ごしているの?どういったサービスを使っているの?等々、学校卒業後の不安解消に少しでも役立てられるために行いました。		
活動ポイント	卒業生4名と保護者の方から順番に今、どういう仕事をしているのか、どう通っているのか、余暇の過ごし方などを聞く。		
主体委員会名・講師名等	【講師】 卒業生4名(一般就労2名、B型就労1名、B型就労→就労移行支援1名) 一般就労した卒業生の保護者1名、進路指導主事		
<p>【活動の経緯】 障害のある子の親にとって、卒業後の就労先やお金(お給金や、年金)のことなどは、学齢期の頃から心配、不安事の一つです。学校の特性上、小中高一貫校のため、ずっと先のことであろう小学部・中学部の親の参加もあります。</p> <p>今回お話をしてくれた卒業生は、学生時代に、部活動を頑張ってやっていたことや毎日学校に通ってきていたことの大きさを伝えてくれました。また、親の立場からは、年金の申請時の裏話を聞かせていただきました。実際に経験してきた本人の姿を見たり、お話をきいたりすることで、将来の我が子に重ね合わせることができました。</p> <p>【当日の流れ】 自己紹介→今の生活状況→先生の話→質疑応答 卒業生の親からのお話も聞きました。</p>			
メール送信先	info@aichikoupren.org		

【当日の様子】

保護者の方にも話を聞きました。20歳になったときに障害者年金を申請する場合、どのように申請するとよいのか、そのためには今から準備をしたらよいものは何かをお聞きすることが出来ました。



進路指導の先生から
「就労に向けてできること、頑張ることは、まず学校に休まずに通うことです」
「卒業生がこうして元気でいてくれて、再会できたことがうれしい」



進路講話では、どんな講師をお呼びするとよいだろうか、どんな形で実施するとよいだろうかなどを毎年執行部役員で話し合いながら内容を変えて行っています。
今年は68名という、今までになく大勢の保護者さんに参加していただきました。
在学中から、相談事業所の人とつながっておくことが大事だとの助言もいただきました。
要望として、「生活介護」の事業所に通っている人の話が聞けなかったのが残念だった。との感想をいただきました。

一般就労もわかりですが、福祉就労の形態としては、いくつかあり、複雑なこともあり、保護者は不安でいっぱいです。
その不安を卒業生やその保護者の方からお話を聞くことができ、自分の子どもの将来を想像しながら、これからの就労に対しての方向性が見えてきた人もいたと思います。
これからも、保護者の要望を聞きながら企画していきたいと思えます。

PTA活動紹介		高P連受付番号	4
PTA(学校)名	愛知県立三好特別支援学校	部門	3
活動テーマ	『和・話・輪』(保護者座談会)		
キーワード	気軽な悩み相談	横のつながり	縦のつながり
開催日	毎年1~2回 本年度は令和元年6月10日(月)		
場所	三好特別支援学校 会議室		
時間	午前10時から午前12時まで(毎回約2時間)		
参加者	小学部保護者7名 中学部保護者8名 高等部保護者18名 合計33名の保護者と講師役2名		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもの子育てでの日常の小さな悩みや疑問を相談できる場、悩みを共有し助け合える場を創りたい。 ・豊田市、みよし市、日進市、東郷町と尾張と三河をまたぐ広範囲にわたる地域から入学してくる保護者を「隣近所の顔見知り」感覚でつなぐ場にしたい。 ・小学1年生から高校3年生までの12学年がそろう学校の中で、「先輩保護者」と「後輩保護者」をつなぐ場を提供したい。そして卒業生の保護者も「大先輩保護者」としてつなぎたい。 		
活動ポイント	話しやすいように10名程度の小さなグループに分け、膝をつき合わせて『輪』になり、『和』やかに『話』が進められるようにする。 テーマは決めず、その場で出た話題で話を進める。		
主体委員会名・講師名等	PTA研修部		

【当日】

(1) スケジュール

- 9:00 PTA研修部集合
会場準備、案内表示、受付
- 9:30 駐車場整理開始(保護者駐車場が混み合うため、駐車場整理は本校の必須活動)
- 9:40 受付開始、講師さん案内
・参加保護者には受付時にグループを知らせ、あらかじめグループの輪に座ってもらう。
- 10:00 開会
研修部長挨拶、講師紹介
- 10:10 グループごとに座談会開始
- 11:50 座談会終了、講師へお礼の挨拶
- 11:55 終了、アンケートの記入



(2) 進め方

- テーマは決めず、その場で出た質問や悩みに合わせて話を進めるようにする。
ファシリテーターは研修部の役員や理事が務める。
- 一人の講師で1グループを作るようにするが、時間を決めて講師に入れ替わってもらい、複数の講師の話が聞けるようにする。
- 異学年の保護者でグルーピングすることにより、対講師だけでなく、保護者同士でもアドバイスをし合えるようにする。



【事前準備】

(1) 講師(卒業生の保護者)探し

- PTA役員を中心に、卒業生の保護者で協力して下さる方を2名~3名探し、打診をする。
・お子さんが在学時に「和・話・輪」に参加してくださっているのでイメージは持ちやすく、声を掛ければ引き受けてくださる方が多い。

PTA役員一番の難関!
講師さんが決まれば

(2) 講師さんとの打合せ

- 講師さんに会い、会の趣旨の説明し、想定される質問やテーマについて確認をする。
・テーマは決めず、その場で出た話題で進行していくが、講師役の保護者の得意分野はどんな内容かを確認しておく。
例: 小、中学校は地域の学校へ行き、高等部から本校に入学してきたお子さんの保護者
→卒業後の進路についての話、友達付き合いの話
小学部から本校に在籍していたお子さんの保護者
→身辺面の自立に向けた支援についての話

(3) 全校保護者へのお知らせ

- 案内文を作り、全校保護者に配付する。
・案内文に、講師さんのプロフィールを載せることで保護者に身近に感じてもらい、出席者数増を図っている。

(4) 出欠確認と出席者のグルーピング

- 参加者名簿を作り、参加人数や講師さんの人数に合わせて2、3グループに分ける。
・お子さんの学年がバラバラになるように、グルーピングする。

【事後】

(1) アンケートの集約

- 当日参加者に書いてもらったアンケートを集約し、全校保護者に配付する。

(2) 講師さんへのお礼

- 講師さんへのお礼とアンケート結果の報告をする。

【まとめ】

この『和・話・輪』は、記録が残っているだけでも平成20年度から続いており、少しずつ形を変えながらも研修部が力を入れてきた行事である。守り続けてきたコンセプトは「気軽に」、そして障害のある子を育てる保護者が孤立しないよう「横」にも「縦」にも「つながれるように」、ということである。

本校に入学するまで子育て、特に障害のある子の子育てについての悩みを話せる場がなかったり、相談できる相手が少なかったりした保護者が、参加を経て右記のような感想をもってくれることは大変うれしいことである。

会の運営は大変な部分もあるが、準備などを通してまた新たなつながりができることもあり、こうしたことがPTA活動の『良さ』などだと感じている。係りの負担に配慮しつつも、今後も長く続けていきたい活動である。

<参加者のアンケートより>

- ・ 障害のある子の親として、今までの経験をお話いただき、大変共感し、勉強にもなりました。
- ・ 障害のある子本人だけでなく、支える親の健康や兄弟姉妹のケアなど、これから気を付けていこうと思いました。
- ・ 小学部のうちにやっておいた方がいいことを、分かりやすく教えていただき、よかったです。
- ・ 進路の話から、日常生活の身近な部分まで、より具体的な内容をたくさん伺うことができてよかったです。
- ・ 子供の卒業後、就労先ばかりが気になりますが、余暇の過ごし方も重要だと思いました。
- ・ デイサービスや外部の人たちにもっと子供のことを理解